

トピックス 1

9月24日～9月30日は結核・呼吸器感染症予防週間です！

結核は、現在でも国内の主要な感染症です。

2週間以上咳が続く場合は、結核を疑い、重症化と感染拡大防止のために、医療機関を受診しましょう。

新型コロナウイルス感染症をはじめとした呼吸器感染症の感染防止のため、マスク着用を含む咳エチケット、手洗い、換気等の基本的な感染対策を行いましょう。

【参考】千葉県「結核呼吸器感染症予防週間」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/kekaku/tbweek.html>

呼吸器感染症とは

秋から冬にかけて、例年呼吸器感染症が流行します。呼吸器感染症はインフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス感染症などがあります。

感染経路

咳やくしゃみによって放出されるウイルスや細菌が他の人の鼻や口から侵入することによって感染します。

症状

鼻水、くしゃみ、鼻づまり、喉のいたみ等の風邪症状で、通常は1週間程度で自然治癒します。
免疫力が低下している場合は重症化する可能性があります。

予防

感染対策のポイント

感染予防を心がけ体調を整えるようにしましょう。

高齢者や基礎疾患のある方が感染した場合は、重症化するおそれがあります。
感染対策として「マスクの着用を含めた咳エチケット」や「手洗い（手指消毒）」、「換気」等が効果的です。



咳エチケット



マスク着用



手洗い



換気

【参考】厚生労働省 感染対策・健康や医療相談の情報

https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2_1

結核とは

「結核」は過去の病気だと思いませんか？
実はそうではありません。
日本では毎年約10,000人が新たに結核を発症し、毎年1,400人以上が結核で亡くなっています。
早期発見・早期治療のために、結核のことを正しく知りましょう。

【参考】政府広報オンライン
<https://www.gov-online.go.jp/article/201509/entry-8559.html>
【WEBパンフレット】国益財団法人結核予防会
<https://www.jatahq.org/wp-content/uploads/2026/07/6c9f12e9da429389040cb91dfa480cc7.pdf>
【ポスター】国益財団法人結核予防会
<https://www.jatahq.org/wp-content/uploads/2026/07/4bda2f776dc86ae058e394b37b658d60.pdf>

症状

発生すると風邪のような症状が現れ、そのような症状が2週間以上続くのが特徴です。

咳が長く続く



微熱が続く



たんが出る



身体がだるい



感染経路

咳やくしゃみと共に、結核菌の混ざったしぶきが空気中に飛び散り、それを吸い込むことで人から人へ感染します。高齢になったり、他の病気で免疫力が落ちると、結核を発症することがあります。

予防

胸部レントゲンを含む健康診断を定期的に受けましょう。
生後1歳までのBCGワクチンにより小児結核の発症を減らすことができます。

1年間で
(2025年)
新規登録者数
9,899人
死亡者数(推定)
1,474人

新登録結核患者は高齢者に多く、およそ6割が60歳以上となっています。

結核は
あります
令和の日本にも

早期受診、
早期診断
で正しい治療を！

せき・たんが2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

正しく知ろう
呼吸器
感染症
のコト

多種にわたる疾患があり
基本的な感染対策
が有効

呼吸器感染症には、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、細菌性肺炎などがあり、手洗い、換気、咳エチケットなどの基本的な感染対策・予防が有効です。

さまざまな
症状がみられる
非結核性
抗酸菌症

長引く咳に
NTM症
という視点を

CLINIC
住まいの近くの
呼吸器内科
を受診！

診断や治療に時間がかかることがあるため、症状が続く場合は早めに受診しましょう。

厚生労働省
国益財団法人結核予防会
NTM(nontuberculous mycobacteria)：非結核性抗酸菌

厚生労働省 結核	検査
厚生労働省 急性呼吸器感染症	検査
厚生労働省 NTM症	検査

トピックス 2

インフルエンザが流行シーズン入りしました！

2026年第34週における、定点当たり患者報告数が1.80となり、流行開始の目安とされている1.00を上回ったため、インフルエンザの流行シーズンに入りました。

管内でも37週(9/7～9/13)に小学校2校の学年閉鎖・学級閉鎖の報告がありました。A型が多く報告されています。

症状

【イラスト】政府広報オンライン
<https://www.gov-online.go.jp/article/200909/entry-8422.html>

高熱や関節の痛みなどを伴い、
人によっては重症化することもあります。



感染経路

飛沫感染



接触感染



予防

【参考】東京都 保健医療局

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/hokeniryo/2026influ_leaflet_08_260818-2-pdf

- ★正しい手洗い
- ★適度な湿度とこまめな換気
- ★十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ★咳エチケット
- ★人込みや繁華街への外出をひかえる
- ★流行前のワクチン接種

ウイルスから体をまもるために



しっかり
手を洗おう



空気を
いれかえよう



ゆっくり
休もう

うつさないために



せきエチケットに
気を付けよう

管内定点感染症情報

2026年第33週～第37週の
管内の発生動向です

印旛保健所管内の感染症発生動向(最近5週)



腸管出血性大腸菌感染症

第33週～第37週に
11例の届出があります。

- 気温が高い初夏～初秋にかけて届出数が多くなる傾向があります。
- 幼児や高齢者は、合併症が起こりやすく注意が必要です。
- 汚染された食品や手指等を介した経口感染です。
食中毒の予防は、食中毒菌を「付けない、増やさない、やっつける」の3原則です。

管内全数報告感染症情報 (2026年)

2類感染症	33～37週合計	合計(年)
結核	13	82
3類感染症		
細菌性赤痢	0	1
腸管出血性大腸菌感染症	11	16
パラチフス	0	2
4類感染症		
E型肝炎	0	2
A型肝炎	1	3
チクングニア熱	0	2
デング熱	1	5
日本紅斑熱	0	1
マラリア	0	2
レジオネラ症	2	10
5類感染症		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	0	5
急性脳炎	2	3
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	7
後天性免疫不全症候群 (HIV感染症を含む)	2	5
ジアルジア症	0	1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	4
侵襲性肺炎球菌感染症	2	22
水痘 (入院例)	0	4
梅毒	2	23
播種性クリプトコックス症	0	3
百日咳	1	30
麻疹	0	3
多剤耐性緑膿菌感染症	1	1

※届出があった疾患のみ表示。

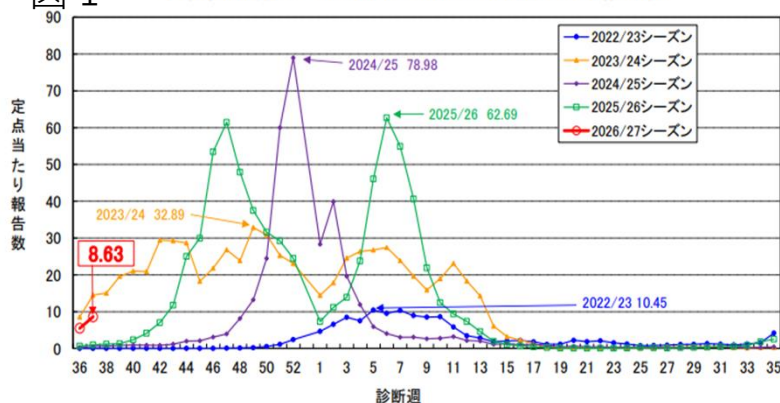
※数字は印旛保健所の発生届受理数のため管外居住の患者を含みます。

【参考】家庭のできる食中毒予防の6つのポイント
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/k/enkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/01_00006.html

インフルエンザ

～定点医療機関における感染症数の報告は増加傾向です～

図1 千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



直近5週間の保健所別インフルエンザ定点当たり報告数

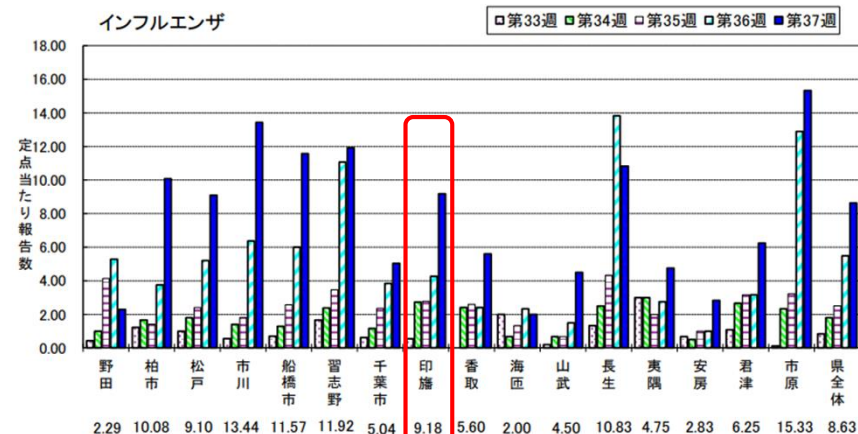
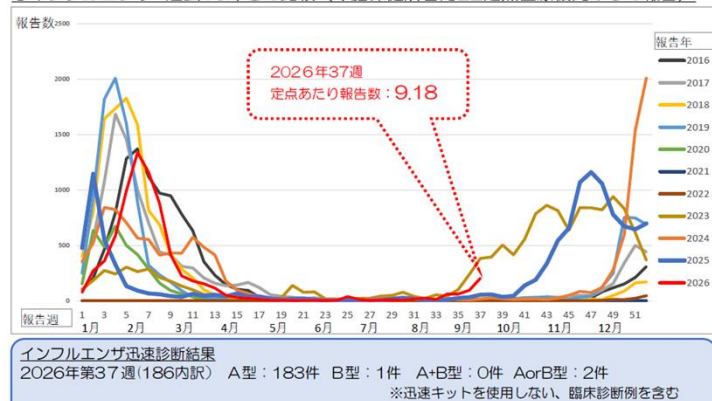


図2 ◆印旛保健所管内インフルエンザ情報◆

2026年 第37週 9月7日 ～ 9月13日

○インフルエンザ 過去10年との比較 (印旛保健所管内22定点医療機関からの報告)



第37週の千葉県全体の定点当たり報告数は8.63(人)でした(図1)。印旛管内の報告数は9.81(人)となり(図2)注意報レベルの10に近づいています。

インフルエンザ発生状況

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202637influenza.pdf>

新型コロナウイルス感染症

～定点医療機関における感染症数の報告はほぼ横ばいです～

図3 千葉県の年別新型コロナウイルス感染症定点当たり報告数

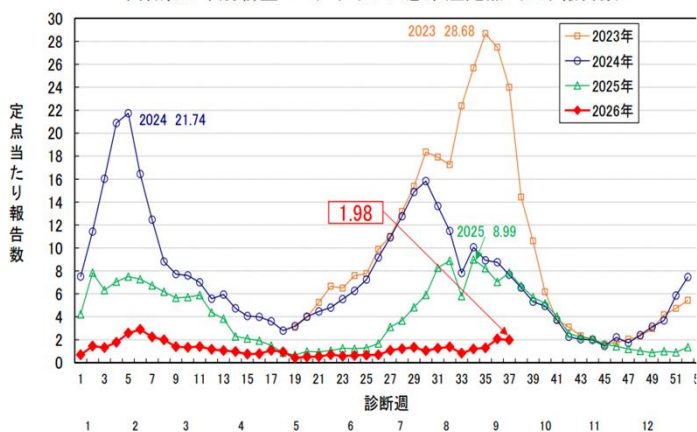
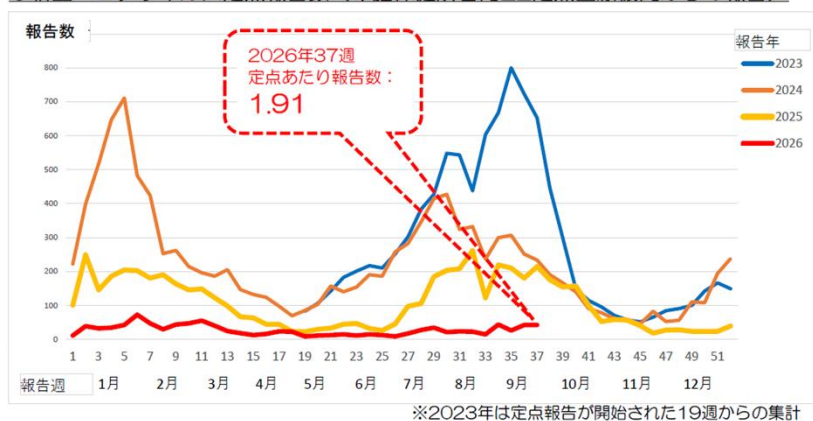


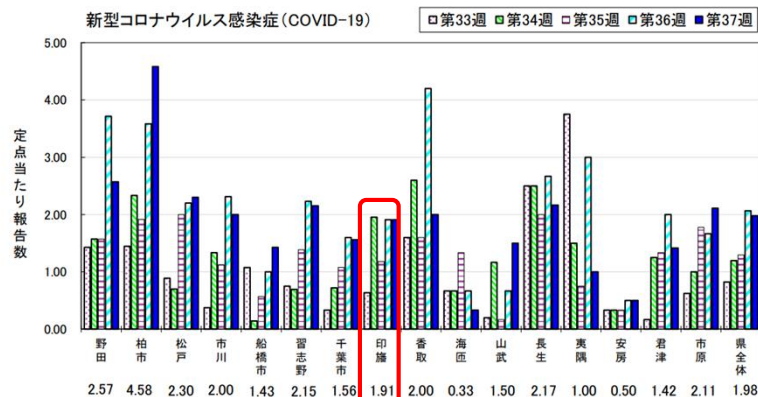
図4 ◆印旛保健所管内新型コロナウイルス情報◆

2026年 第37週 9月7日 ～ 9月13日

●新型コロナウイルス定点報告数 (印旛保健所管内22定点医療機関からの報告)



直近5週間の保健所別新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数



第37週の千葉県全体の定点当たり報告数は1.98(人)でした(図3)、印旛保健所管内の報告数は1.91(人)でした(図4)。

新型コロナウイルス感染症の発生状況

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202637covid19.pdf>